

平成 29 年 4 月 5 日

公益財団法人富山第一銀行奨学財団

理事長 金岡 純二 殿

助成研究成果概要報告書

教育機関名 : 富山大学	助成金額 :	800 千円
研究代表者 : 森賀一恵	所属 : 人文学部	職位 : 教授
研究題目 : 黎明期の富山漢文学の総合的研究		

研究概要

本研究は、地方と中央の往来が盛んになり、出版という形で地方でも文学が花開いた江戸後期に活躍した高岡の文学者寺崎蛸洲を、研究分担者磯部祐子氏が発掘したことから始まり、富山で初めて出版された文学作品『蛸洲餘珠』を読み解くことを目指したものである。今年度は、昨年度の『富山文学の黎明（一）—漢文小説『蛸洲餘珠』（巻上）を読む』を承けて、「富山文学の黎明（二）—漢文小説『蛸洲餘珠』（巻下）を読む」の出版作業を通じて、テキストの語学的な研究をすすめ、富山の漢文学の世界を語彙・語法の側面からも明らかにした。

成果要約

高志の国文学館には、江戸後期の富山の文学活動について紹介した展示や書籍の設置はないが、江戸後期には、富山の文人の著した漢文作品集が京都の書肆で出版されており、中でも、漢学者・寺崎蛸洲の作品は、今日、中国から出版された漢文小説叢書の中にも収められるほどの優れたものである。『蛸洲餘珠』（富山で最初に出版された文学作品）等、富山生まれの文学を読み解き、先人の高い学問レベル、豊かな文学性と地域性を知ることは今後の富山の文化創造にとっても不可欠である。成果公刊によって、これまで知られていなかった優れた富山の文学を顕彰することができた。

また、日本文学、日本語学プロパーではなく、中国文学、中国語学を専門とする研究担当者が解釈することにより、本邦初の『蛸洲餘珠』訳注が完成した。寺崎蛸洲をはじめとする富山の漢学者の作品研究は、これまで研究分担者が公刊した論著以外には公開されていない未開の分野である。この成果により、今後、この分野の研究が刺激され発展することが見込まれる。

研究成果 発表状況	『富山文学の黎明（二） 漢文小説『蛸洲餘珠』（巻下）を読む』（桂書房、2017 年 3 月 28 日）		
経費の 執行状況	区 分	執行額（円）	備 考
	【物品費】	0 円	
	【旅費】	0 円	
	【謝金】	0 円	
	【その他】		
	『富山文学の黎明（二） 漢文小説『蛸洲餘珠』（巻下）を読む』出版費	800,000 円	
	合計	800,000 円	